

モニター通信 No. 6

皆さんから寄せられた「モニター通信 2 月分」を紹介します。

「土浦市の消費生活モニターに参加して思ったこと」

～市の消費者行政やセミナー・消費生活展などに参加して感じたことをお書きください。～

モニターから No. 1

消費生活モニターに 2 回目の参加となりました。年度初めの委嘱式に参加でき、そこで消費生活センターの方のお話を聞けてとても有意義な時間だったと思う。6 回に及ぶ通信テーマも、そこに焦点を合わせると、普段とは違う考えが出てきた。また、他の方の意見を聞くことで、なるほど～と思うことが多かった。

しかし、残念だと感じることもあった。昨年度のモニター通信に書いてあったことが、今年度に反映されていたのか疑問が残る。郵便料金が値上がりしたので、モニター通信をまとめたものは、PDF にしてメールで配信でも良いのではないかなと思う。それに伴い、参加案内もメールや、LINE などの機能を使えないものか、考えて欲しい。土浦市の LINE からの連絡に、消費生活センターからの注意喚起などを送信してもらうことはできないだろうか？とても簡単に「今の情報」をもらえるので、便利だと感じる。ご検討いただきたい。

一年間、お世話になりました。

※アンダーラインのことについては、R 6 年度すでに実施済みです。「相談室から」で LINE 配信中。

モニターから No. 2

今まで何気に暮らしていた毎日でしたが、今回モニターを受けさせていただき、暮らしを見つめ直すきっかけになりました。インターネットで気をつけなければいけないこと、エコについて、通販とのうまい付き合い方、キャッシュレス決済について、機能性表示食品について、日々の暮らしについて、改めて考えさせられました。また、毎回課題について、家族とディスカッションしました。得た知識を、実家の親、友達などにも伝えて共有したり、いいきっかけになり感謝しています。消費生活展やくらしのセミナーには参加することができず残念でしたが、機会がありましたら、積極的に参加していきたいと思っています。

1 年間ありがとうございました。

モニターから No. 3

早いものでアツという間に 1 年間過ぎてしまいますね。仕事らしき事は生活展でのお手伝いを少ししただけ。ご来場した子供達や皆さんに少しでも喜んでもらったりする為に、抽選ではすべての色玉に「大当たりー」叫んで鐘を鳴らして比較的大きい声出してみたら、周りの人達も振り返ったりしてかなり盛り上がっていましたね。参加して抽選して頂いた方凄く喜んでいまし

た。少しフライングだったかもしれませんが（すべての色玉が大当たり）後からクレーム来ませんでしたか？少し心配しておりましたが。

また1年活動して同じモニターさんの顔も名前も誰一人分かりません。（他の活動に参加しなかったのも私の責任ですが）その他の交流会も少なく意見交換もなく、モニター通信の返信しているだけ。活動に何か意味あるのか疑問を感じます。広報にも投稿記載なし。各テーマの他の人の感想が見られるのが唯一の楽しみで良かったと思います

またセンターに1度だけ相談コーナーに出向いて相談に乗って頂きましたが、その後のフォローもありません。環境汚染対策も必要物件だと思いますが、そのままに置いて良いのでしょうか。私の小さな意見かもしれませんが、全国に同じようなトラブルや環境状態でモノ申す人の対象者が高齢者の農業従事者ですから、誰も問題提起する人など皆無ですよ。だからこそ？小さな事をどれだけ判断するか、時間も人も少ないだけで処理していませんか。それからセンターの中の事務所も凄く狭いですよね。相談窓口も凄く入り難く感じます。相談室も凄く狭く、まるで警察の犯罪者が取り調べを受けているような感じでした。（以前警察へ暴行障害で被害届を出した時）相談に来る人は皆被害者だと思います。だからこそ、どれだけ被害者に寄り添えられるかが大切な条件ではないでしょうか。是非明るく広い入り易い相談室にして欲しい希望お願いです。

モニターから No. 4

モニターから No. 5

1年間を振り返ると講演会や勉強会等、企画が少なかったように思えます。年々さまざまな企画が縮小されていくのは寂しい限りです。そして昨年は、一大イベントである消費生活展も急用のため参加できなかったことは、とても残念です。

世の中は詐欺や闇バイトによる犯罪等、私達の生活をおびやかす犯罪が年々増え続けています。家にいても被害を被ることも少なくありません。消費生活センターへの重要度は、今後ますます上昇していくと思います。私達もこちらで学んだ情報を発信し、少しでもセンターの一端になることができたならば幸いです。さらにさまざまな企画によって、私達が学べる機会を与えていただけるとありがたいです。

モニターから No. 6

今年度も一年間モニターを勤めさせていただきました。モニターをさせていただいておかげで、今年度も自分自身が消費者としての意識を持ちつつ過ごしました。これについてはどう考えるかという設問を消費生活センターのスタッフから問われて、そのことに目をやる、考える、レポートにまとめるという一連の行動が、消費者としての意識をはっきりともつ機会となりました。それを近隣の人たちとの会話にも持ち込み、互いに意識するから、間違った行動を起こすことを防いでいたと思う。

消費生活センターのスタッフのモニターテーマ設定が時宜を得ているからであると感謝している。どんなテーマについても自分が考え、近隣の人たちと話したが、今年度、唯一、機能性表示食品についてだけは利用したことがなく近隣にも親類にも利用者がいなかったのも、モニター諸氏のレポートを待ちたいという以外何も書けなかった。そしてモニター諸氏のレポートを

待ったが、ほとんどのモニターから同様なリポートがあったのは興味深かった。積極的に利用すべきものではないということが示されたとはホッとした次第であり、これで困った損をしたということではなかったということは、土浦市民の健全性が示されたと思いました。

モニターから No. 7

「土浦市消費生活展2024」においては、大変お世話になりました。ありがとうございました。お陰さまで楽しみながら参加させて頂くことができました。合同で開催された「土浦市環境展」及び「土浦市子どもまつり」「土浦市グリーンフェスタ」も同時に開催ということで、子供から高齢の方まで、世代を超えて、幅広い層の来場者で、非常に活気に満ちたイベントであったと感じられました。

消費生活センターのブースにもたくさんの方々に足を運んでいただきました。残念ながら、15時以降にはスタンプラリーの用紙が足りなくなってしまう程の賑わいぶりでした。土浦工業高生によるブースの出展。そして「土浦市子どもまつり」が同時に開催されたことも相まって、若年層の来場者が多く見受けられた印象でした。消費生活に関心を持つきっかけとして、そして消費生活センターの存在を地域の住民に広く知っていただくための消費者啓発のイベントとして、非常に有意義であったと感じられました。スタンプラリーの景品として「くらしの豆知識」が用意されました。くらしの豆知識は、昨今の様々な消費生活事例が掲載されていて、景品として非常に適していると思いました。また、水郷体育館での開催ということで、駐車場も広く確保されている点も、車社会である地域のイベントとしては、足を運びやすかったように感じられました。

しかしながら一方で、くらしのセミナーには、残念ながら参加することができませんでした。コロナ禍が落ち着いた昨今、地域の施設見学会を心待ちにしている市民も少なくはないのではないのでしょうか。例えば、土浦市清掃センター及び、隣接するふれあいセンターながみね。こちらの施設は、土浦市清掃センターのごみ焼却時に発生する余熱を活用した温水プール、浴室が利用できるということなので、暮らしの中から排出するごみについて考えるきっかけとして、市民に非常に関心の高い施設ではないのでしょうか。また、地産地消を推進し応援するために、日本一の生産地を誇るれんこん関連の施設の見学会も、興味を抱く市民は少なくはないように思います。個人的な意見を述べさせていただきました。

モニター活動を通じてモニター通信を提出することで、非常に多くのことを学ばせていただきました。深く感謝致します。

モニターから No. 8

今年度、土浦市消費生活モニターの仲間入りしてから、皆様とはお会いしてません。モニターとしてその期に即した宿題を書いてご報告のみでした。また、消費生活展への参加は自分の体調不良もあって見逃してしまいました。年間随一の会合でしたのに見逃してしまいました。ごめんなさい。

私は今年88歳になりますが、未熟もいい年で皆様のお力添えをいただき勉強したく思っています。思えばモニター通信テーマの報告は本当に勉強になりました。手を付けたことのない事、別世界の事等、くらしの豆知識を大いに参考しなければ解決ができない課題は、自己人生に非常に役に立ちました。25年度も自分の人生を総括して実施してきた事、実施したい事を含めて総

括して通信テーマ報告に取り組みたいと思います。この課題には「消費生活センター発行の「くらしの豆知識」が非常に役に立ちます。あまり本を読まない私には天の助けです。これからも大いに活用していきたいと思います。

最後にお願ひがあります。その時々課題になっている課題について講習会を開いていただきたく思います。勉強になります。ありがとうございました。

モニターから No. 9

私はいつも思う事に、食品ロスについての思いや課題についての見解を求められる事が多く有る事に、自分自身も良く反省し、有言実行に努めたいと思いました。某新聞記事の中に、食材の利用について記載が有り参考になりました。一例として、食材の軸まで、軸食品として利用する等、アイデアが色々有る事がわかりました。家庭の食品ロスの要因は、主に3つ有り、食べ残し、賞味期限切れ等でそのまま捨てる直接廃棄、そして可食部分まで廃棄してしまう過剰除去が有ると言われています。生鮮食品の価格が高騰している最近の時世より、どうすれば食材を最大限に活用出来るか、自由な発想も食材の部分的除去をしない発想も必要と思います。

また世界を見渡すと、満足に食べられない人が多く居るとの事を鑑みると、毎日毎日満足な食事が出来る事に感謝しつつ、少しでも食材の無駄を無くしていく事を心に銘じて、今後の日常生活に十二分留意して生活していきたいと思います。

モニターから No. 10

ここ何年か消費生活モニターに参加させていただいている。子育てに親の関与が必要なくなっただけからは、世の中の動きにも少々鈍感になっていた。だが、消費生活も世の中のさまざまな動きが深く関与している事に気がついた。その上、毎月提出するテーマに沿って頭をめぐった事を文章化する事で、本来の自分の考え方を確認出来たようにも感じる。しかし、最初の数年は新鮮に感じたテーマもだんだんマンネリ化しはじめ、面白くなってきた。

世の中は今、2025年問題、そして人生100年時代にも突入。その上今年は昭和100年と銘打ち、昔を懐かしむ傾向が広がっている。昭和を過ごした年齢を重ねた人々の応援団が増えたようだ。確かに街には右も左も高齢者が増えている。若いと見える人達より、本当に若い人達のパワーが不足している気がする。これからの消費生活は、昔を振り返り懐かしく思う人々相手にすすむような気がする。だが、そんな我々を取り巻く消費生活も、詐欺だ、闇バイトがらみの事件に注意しながらの生活になってくるようだ。その上、AIだ、チャットGPTだのとアルファベットの羅列の波にもついていかなければならない。

10年ひと昔と言っていたような気がするが、つい最近まで5年ひと昔になっていたのに、今は去年の出来事が昔になってしまうほど動きが早い。昭和などと懐かしんでいたら、皆に追い越される。高速で通り過ぎる世の中の消費生活の渦に巻き込まれないようにするのに必死だ。人間そのものは変わっていないのに、消費生活にまつわる相談やトラブルもきっと追いつかない状況になっている気がする。今のままの消費生活センターのあり方をも大きく切り替えていかないと、無用の長物になりかねないと思っている。「消費生活センターをより良い形に持っていくには、どう消費者とかかわって行ったら良いですか？」とチャットGPTにかかわり方を問いかけてみたい。

消費生活モニターはもう何年も続けています。その中で感じたこと、それは消費者は受け身ではなくて、世の中の動きに敏感であり、絶えず学んでいかななくてはならないということです。たとえば架空請求などの詐欺を例にあげてもずっと以前はこんな詐欺はなかったし、それに最近新しい手口が次々と出てきてその巧妙さに驚きます。お金の話が出てきたらあやしいと思う、固定電話には録音装置をつけて電話がかかってきたらその旨を相手に自動的に伝えるのも一つの対策、といった知識があれば詐欺被害は減らすことができると思います。

また最近気になっているのはリチウム電池の発火です。燃えないゴミに混じっていたリチウム電池から火が出てゴミ処理場が使えなくなったことは大きなニュースになりました。使えなくなったものを処分する時、いいかげんなことをしてはたいへんなことになる、これは消費者だけでなく、企業にも行政にも問われていることではないでしょうか。今の時代、最低限社会の動きについていかなければ安全に暮らしていくのは難しい、それは消費者の立場であっても同じだと思います。